

本日は、本当に多くの皆様にお忙しいところ、ご出席いただき、誠に有難うございます。皆様方には、日頃から島根の観光振興に格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

島根の観光について、最近の話題を紹介しますと、まず、今年4月に、「日が沈む聖地出雲」が新たに日本遺産認定されました。

これは、出雲の人々が、古来から「夕日」に畏敬の念を抱いて祈り、語り継いできた歴史ストーリーが認定されたもので、海岸線に沈んでゆく美しい夕日をご覧いただけます。島根での日本遺産の認定は、一昨年の「津和野今昔」、昨年の「出雲國たたら風土記」に続き3年連続となります。

また、来年は、「山陰デスティネーションキャンペーン」が島根、鳥取両県で開催されます。

島根では、このキャンペーンのメインイベントとして、島根に茶の湯文化を根付かせた松江藩 松平家 7代藩主松平不昧公の没後200年を記念した「不昧公200年祭」が開催されます。不昧公の育んだ島根の茶の湯文化を体感いただけるイベントを、国宝松江城周辺で企画しております。

続きまして、歴史風土等にそれぞれ特色のある、県内の3つの地域ごとにトピックスをご紹介します。

まず、県東部・出雲地域では、縁結びの神様をお祀りする出雲大社において、平成25年度に約60年ぶりの大遷宮が行われ、引き続き全国から多くの方々にお出でいただいております。来年には、神楽殿の大しめ縄が6年ぶりに架け替えられる予定となっております。

県西部・石見地域では、世界遺産登録10周年を迎えた石見銀山遺跡において、石見銀山最大の坑道跡である「大久保間歩」の公開範囲を拡大してご覧いただけるようになりました。また、石見地域では”ヤマタノオロチ”の演目で有名な「石見神楽」を週末などに定期的に公演しております。

隠岐諸島は、ユネスコ世界ジオパークに認定されています。観光客の皆様には、隠岐の古き文化、豊かな自然を活かした体験メニュー、新鮮な海の幸などを楽しんでいただいております。

また、島根県では、“ご縁の国しまね”をキャッチフレーズにエグザイルの、青柳 翔さん、AKIRAさん、小林 直己さんを起用して観光プロモーションを展開しており、引き続き、島根の魅力を発信してまいります。

本日は、このような島根の観光素材を映像でご紹介させていただきます。また、交流会では島根県の特産品や地酒などもご用意しておりますので、お楽しみいただければと思います。

終わりに、皆様方には、より多くのお客様に島根へお越しいただき、島根の魅力に触れていただけるよう、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶と致します。